

陽成の風

光陰矢のごとし

校長 福倉 泰一郎

梅の木の白や紅の花の色が春の訪れを感じさせるようになってきました。東郷藤川天神の臥龍梅（国指定の天然記念物）また、近くにある久留須梅（市指定文化財）も花が咲き揃ってきていました。

各教室からは、卒業式で歌う曲の歌声も聞こえてくるようになり、学校の一年もいよいよ最終章だと感じるこの頃になってまいりました。

希望に胸躍らせるこの時期、いちき串木野市で起こってしまった小学生を巻き込んだ交通事故に心を痛めました。幸いにも校区内ではこの一年間も皆様方が見守っていただいたおかげさまで子どもたちは、事故・事件に会うことなく元気に過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいでございます。これからも子どもたちに確実な一旦停止を徹底させていきたいと思ひます。

卒業の時期を迎え、卒業生の保護者の方々におかれましては、この6年間という長い時間もあっという間だったと感じられているかもしれません。ましてやこの1年間の早いこと「光陰矢のごとし」とはよく言ったものだと思います。時間は永遠にあるように錯覚し「明日でいいや」と考えることの危うさを感じるようになってきました。年齢によるものなのでしょうか・・・？

子どもの時間の使い方や土曜日の過ごし方を見直すという意味からも土曜授業のことは以前からの懸案事項だったのですが、報道などでもご存じの通り、薩摩川内市でも27年度は9月から毎月第2土曜日は授業をすることになります。（6回）このことだけに留まらず他の土曜日や日曜日の時間の過ごし方、そしてかねての時間の使い方についても見直す機会にしていかなければならないと思ひます。

校区でも来年度に向け、放課後の子どもたちの時間の過ごし方ということで「子ども教室」の実施に向け、校区コミュニティ協議会で計画を立案中です。また詳しく説明の場もあろうかと思ひますので安心安全で有意義な時間の過ごし方ということでご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

さて、間もなく小学校の教育課程を修了し、今年度は3名の子どもたちが卒業していきます。上村 晴君と迫 菜々子さんと山崎 美優さんです。最高学年として手本となり面倒見のいいお兄さん、お姉さんとしてがんばっていました。校区の皆様方も時間がとれましたら是非、卒業式へご参加いただき門出を祝ってくださればと思ひます。



校内持久走大会

2月3日（火）に校内持久走大会がありました。麦之浦川沿いの道を1年生から6年生までの全児童がそれぞれの学年に応じ、600m～1500mのコースを走りました。幼稚園児も300～500mを走りきりました。

当日は寒波の影響でとても寒い1日になるとの予報でしたが、子どもたちの熱気のお陰か好天で過ごしやすいい日となりました。昨年から2月実施になり練習期間が増え、子どもたちは寒さに負けずに練習を頑張ってきました。その成果を発揮しようと、それぞれに自分の目標に向かってがんばりました。

寒い中にも関わらず、多くのお父さんやお母さん、おじいちゃん・おばあちゃんに応援に来て頂きありがとうございました。そのお陰で子どもたちは練習以上の走りができました。寒い中の温かいご声援、本当にありがとうございました。



校内意見発表会

2月3日（火）には、校内意見発表会も行いました。平成中校区ではふるさと・コミュニケーション科を中心に子供たちの表現力・発表力の向上に向けて取り組んできました。陽成小ではその発表の場としてこの意見発表会を毎年行っています。各学年の発達段階に応じ、今年1年頑張ってきたことなどをそれぞれに発表しました。

この意見発表会を中心に、毎学期の始・終業式での発表、様々な集会活動での感想の発表等、陽成小の子どもたちは発表の機会が他の学校より多いです。さらに事前に準備ができる発表以外にも突然に感想を言う機会も他校より多いと思ひます。子どもたちの様子を見ると戸惑いながらもそれをこなせるようになってきていると感じます。きっと体験を積み重ね、常に発表の準備をしながら聞く体制を身につけつつあるのでしょう。多くの保護者の皆さんにご参観いただきどうもありがとうございました。



青少年健全育成意見発表大会

2月7日（土）には、市ライオンズクラブ主催の「青少年健全育成意見発表大会」が開催され、6年生の山崎美優さんが学校の代表として出場し、「楽しさを知った太鼓踊り」という演題で発表しました。かなり緊張したようでしたが、大勢の出場者、観客の前でも堂々とした立派な発表をしてくれました。



体験入学（入学説明会）

2月4日（水）には、陽成小学校の体験入学があり、4月に入学する山口美樹さん、山田愛菜さんが陽成小に来てくれました。校長先生のお話を聞いた後は、お母さん方が説明を受けている間、1・2年教室で1・2年生のお兄さん・お姉さんと一緒に楽しく活動しました。

はじめは緊張していた2人ですが、1・2年生の楽しい演出や温かい声かけもあり、途中からは満面の笑顔で活動していました。笑顔で帰る2人を見て、1・2年の3人もとても嬉しそうでした。4月には全校児童が2人の新入生の入学を楽しみに待っています。



半成人式

2月19日（木）には、3・4年生が「半成人式」を行い、4年生の半成人を祝いました。4年生が高学年への決意を発表したり保護者への贈り物をしたりしました。また、子どもたちが工夫して作ったお菓子も親子一緒に食べ、お父様・お母様方からは心温まるメッセージも頂き、親の愛に子どもたちは感動したようでした。終始笑顔にあふれたとてもすてきな半成人式でした。保護者の皆様には、お忙しい中ご参加頂きありがとうございました。

きっとこの「半成人式」を通して、子どもたちの心には、成人（将来）への希望がふくらんだのではないのでしょうか。これからも家庭・地域・学校と一緒に子供たちの成長の様子を見守って参りたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



平成中校区学校関係者評価委員の評価

薩摩川内市では、学校運営の改善や地域・保護者に信頼される学校づくり、地域の教育力の活性化を大きな目的として、学校関係者評価委員会が各中学校区に設置され運営されています。私たちの平成中校区でも、各校の校長先生が推薦し市教育委員会が委嘱した15名の方々が、随時各校を訪問して授業や行事などを参観するなどして、その状況を評価してくださっています。

右に今年度の本校・園の評価について添付しましたので、どうぞご覧ください。

3月の行事予定

3	火	安全点検 漢字検定 卒業式練習
4	水	学校保健委員会 学級PTA
5	木	命を大切に作る心を育む日 教育相談 育友会保護者会 貯金日 ALT来校日
6	金	お別れ遠足
9	月	平成中校区あいさつデー
12	木	卒業式練習 育友会総会 平成中卒業式
13	金	移動図書(返却) 卒業式練習 クラブ見学
16	月	卒業式予行
17	火	全校給食(幼小) 卒業式練習
19	木	第5回高城中央幼稚園卒園式・修了式
20	金	卒業式練習 クラブ活動
21	土	春分の日
23	月	卒業式準備
24	火	第68回卒業式
25	水	修了式 大掃除 職員会議
27	金	辞任式 平成中辞任式・PTA送別会
28	土	育友会新旧役員会 校区送別会

陽成小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価		学校関係者評価委員による評価(集約)	
			評定(数値平均)	対策・改善点	評定(数値平均)	主な意見
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階 人数 平均 A 2 B 4 3.3 C 0 D 0	総会や評議員会、学校便り等で伝えている。学校便りや子どもたちの姿を通して伝わっていると思う。	段階 人数 平均 A 8 B 6 3.6 C 0 D 0	学校経営の方針や、児童や地域への思いが大変よく伝わってくる。
2	(1)	望ましい子どもの姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階 人数 平均 A 0 B 6 3.0 C 0 D 0	徳の領域では数値化しにくいのが、子どもの姿の姿容で確認するようにしている。個々の実態を捉え、分析まで行い、それらを指導に活かしながら取り組んでいる。	段階 人数 平均 A 2 B 12 13.1 C 0 D 0	難しい面もあるが、それなりに工夫して欲しい。
3	(2)	子どもたちは、楽しそうに生き生きと学校生活をおくっている。	段階 人数 平均 A 6 B 10 4.0 C 0 D 0	月ごとのアンケートですべての子どもが楽しいと答えている。毎日楽しく登校し、忙しい行事も乗り越えてたくましく生活している。	段階 人数 平均 A 12 B 12 3.9 C 0 D 0	学校は楽しい所、この感覚が一番だと思う。
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階 人数 平均 A 4 B 2 3.7 C 0 D 0	心の教育推進委員会、毎月子どもの状況を全職員で確認し合っている。いじめに関しては今のところ心配はないが、登校に関しては学期心配するところがあった。このまま不登校の心がけたい。	段階 人数 平均 A 8 B 6 3.6 C 0 D 0	「学校は楽しい。」という人間関係が基本にある。更なる生徒指導の充実を。
5	(3)	子どもたちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意をはらっている。	段階 人数 平均 A 2 B 4 3.3 C 0 D 0	危険箇所について、時・警察署と現場を確認し指導に活かしている。日々が想定外で来るものがあるが、比較的距離で危険も少ない場合は、体や危険予知能力の面からも徒歩通学して欲しい。	段階 人数 平均 A 5 B 9 3.4 C 0 D 0	
6	(4)	教職員は、子どもや保護者、地域との望ましい関係を築いている。	段階 人数 平均 A 3 B 3 3.5 C 0 D 0	諸会合の出席率も高い。できるだけ連絡を取り合い、顔を合わせたら子どもたちの頑張りを伝えるよう努めている。	段階 人数 平均 A 7 B 7 3.5 C 0 D 0	まず教職員から関わりを持つことが大切。望ましい関係が築かれている。
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑にかまれている。	段階 人数 平均 A 1 B 5 3.2 C 0 D 0	みどりの日認定や全校児童・職員との校庭美化作業に取り組んでいる。日々が想定外で来るものがあるが、比較的距離で危険も少ない場合は、体や危険予知能力の面からも徒歩通学して欲しい。	段階 人数 平均 A 3 B 10 3.1 C 0 D 0	全体的によく整理整頓がなされている。教室環境が今ひとつという学級がある。
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	段階 人数 平均 A 4 B 12 3.7 C 0 D 0	毎月全職員がローテーションを組んで点検を行い、それを市教委に報告し、自分たちでできるものについては職員作業で行っている。	段階 人数 平均 A 8 B 5 3.5 C 1 D 0	2階廊下に柵がない机が置かれている。低学年教室にはスライダ黒板が必要。踏み台では危ない。
9	(7)	子どもたちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階 人数 平均 A 0 B 6 3.0 C 0 D 0	少人数のため、公表が難しい面もあるが、保護者へは個人の学力・体力について対策も合わせて、PTAや個人面談、連絡帳や学級通信で伝えている。	段階 人数 平均 A 2 B 12 3.1 C 0 D 0	
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階 人数 平均 A 4 B 7 3.7 C 0 D 0	時間を調整しながら、できる時にとてもよく協力・支援している。ほとんどの保護者が忙しい中、都合を付けて協力してくれるのでありがたい。	段階 人数 平均 A 9 B 5 3.6 C 0 D 0	諸行事を通して、保護者や地域の支援の姿がよく見られる。
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践されている。	段階 人数 平均 A 0 B 5 2.8 C 1 D 0	時間・移動の関係で制約はあるが、毎回活動が充実するよう努めている。高学年の割合が多いと感じる。低学年から関わられる部分があってもいいと思う。	段階 人数 平均 A 3 B 11 3.2 C 0 D 0	6年目を迎えた小中一貫教育。更なる充実を目指して取り組んでいただきたい。
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子どもたちに夢や元気を与えてくれている。	段階 人数 平均 A 3 B 3 3.5 C 0 D 0	人材・内容の選定には苦労しているが、地域の方も楽しめる物を企画している。	段階 人数 平均 A 6 B 8 3.4 C 0 D 0	
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	段階 人数 平均 A 2 B 4 3.3 C 0 D 0	ALT、GTとも協力しながらコミュニケーション能力の育成を中核に取り組みを進めている。	段階 人数 平均 A 3 B 11 3.2 C 0 D 0	小学校の特質を活かした活動がよくなされている。

「学校関係者評価委員 評価結果」

高城中央幼稚園

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価		学校関係者評価委員による評価(集約)	
			評定(数値平均)	対策・改善点	評定(数値平均)	主な意見
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階 人数 平均 A 13 B 2 3.6 C 0 D 0	保護者会などで方針の説明、PTAなどで途中の状況等を話している。毎月園便りを地域の全戸に配布している。	段階 人数 平均 A 8 B 6 3.6 C 0 D 0	毎月の園便りありがとうございます。園児たちの様子が細かく伝わってきます。
2	(1)	望ましい子どもの姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階 人数 平均 A 10 B 15 3.0 C 0 D 0	園児への数値目標は難しいので、行動目標を示している。	段階 人数 平均 A 3 B 11 3.2 C 0 D 0	行動目標が一番適切かとお思います。園児の成長を定期的に知らせて下さい。
3	(2)	子どもたちは、楽しそうに生き生きと学校生活をおくっている。	段階 人数 平均 A 5 B 10 4.0 C 0 D 0	少人数なので一人一人によく心を配り、園児たちは毎日元気に登園し、楽しく園生活を送っている。	段階 人数 平均 A 13 B 1 3.9 C 0 D 0	園便りでその活動ぶりがよく見えます。
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階 人数 平均 A 4 B 1 3.8 C 0 D 0	常に園児たちの様子を観察し、早期対応を心がけている。保護者とのきめ細かな連携に努めている。	段階 人数 平均 A 6 B 8 3.4 C 0 D 0	
5	(3)	子どもたちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意をはらっている。	段階 人数 平均 A 4 B 11 3.8 C 0 D 0	保護者とも連携(保護者による送迎)し、安全な通園を行っている。	段階 人数 平均 A 6 B 7 3.4 C 1 D 0	保護者との連携をまず第一に。今後も細心の注意を払って下さい。
6	(4)	教職員は、子どもや保護者、地域との望ましい関係を築いている。	段階 人数 平均 A 4 B 1 3.8 C 0 D 0	校区外の保護者との連携・相談なども行っている。地域行事にもできる限り参加している。	段階 人数 平均 A 8 B 6 3.6 C 0 D 0	
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑にかまれている。	段階 人数 平均 A 1 B 4 3.2 C 0 D 0	緑化活動も積極的に行っている。幼小で連携しながら取り組んでいる。	段階 人数 平均 A 1 B 7 2.6 C 5 D 1	園庭の草刈りが不十分。園庭の雑草についてはそれなりの目的があったことだったのだと、後で理解した。
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	段階 人数 平均 A 2 B 13 3.4 C 0 D 0	毎月定期的に点検を行い、市教委に報告している。また園で修理できる物は修理などもしている。	段階 人数 平均 A 5 B 8 3.3 C 1 D 0	特に屋外の遊具については、きめ細かな点検が必要だと思う。ウッドデッキについて補修が必要。
9	(7)	子どもたちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階 人数 平均 A 4 B 4 3.2 C 0 D 0	数値で表せないで、平均などの情報は知らせていないが、保護者に対して個々の園児の状況を話している。	段階 人数 平均 A 1 B 13 3.1 C 0 D 0	行動目標を設定し、定期的に知らせるという方法は動でしょうか。
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階 人数 平均 A 13 B 2 3.6 C 0 D 0	行事への参加など積極的に協力している。園外での活動へも協力的である。	段階 人数 平均 A 6 B 8 3.4 C 0 D 0	園に対する積極的な協力、支援の姿がよく見られる。